

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場会社名 株式会社アスラポート・ダイニング 上場取引所 東
 コード番号 3069 URL http://www.asrapport-dining.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 敏夫
 問合せ先責任者 (役職名) 法務総務部長 (氏名) 尾崎 富彦 (TEL) 03-6311-8892
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	8,769	136.1	399	127.4	339	100.6	149	11.1
28年3月期第1四半期	3,714	39.0	175	△34.1	169	△32.0	134	△35.3

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 82百万円(△64.6%) 28年3月期第1四半期 231百万円(7.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	5.33	5.27
28年3月期第1四半期	6.41	6.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	24,297	7,165	28.4
28年3月期	23,633	5,243	20.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 6,889百万円 28年3月期 4,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,480	76.0	402	37.5	369	41.7	210	△12.2	7.16
通期	36,200	54.1	1,004	22.8	922	27.3	525	0.8	17.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	29,287,939株	28年3月期	24,878,839株
29年3月期1Q	2,400株	28年3月期	2,400株
29年3月期1Q	27,985,563株	28年3月期1Q	20,937,872株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善は進む一方、中国経済の減速、中東情勢の混乱、欧州の政情不安、更には英国のEU離脱等に伴う円高や株価下落が進むなど景気の先行き不透明感が漂う状況が続いております。当社が属する外食及び食品生産業界におきましても、円高による一部輸入食材価格の低減が見られるものの、人件費及び人材採用費の上昇は利益を圧迫する要因となっており、引き続き楽観視できない状況が続いております。

このような環境下で、当社グループは「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げ、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化」の各課題への取り組みを積極的に進めてまいりました。その一環として、株式会社神明ホールディングとの間で資本業務提携契約の締結並びに同社及びアサヒビール株式会社を割当先とする第三者割当増資を平成28年4月に行いました。また、同年3月に資本業務提携を締結した株式会社フジタコーポレーションとは、今後共同して出店を目指すほか、同社との新たなブランド開発も検討しております。

当第1四半期連結累計期間の当社の取り組みは、次のとおりであります。まず、既存ブランドの競争力強化と成長におきましては、当第1四半期末の店舗数は678店舗（前年同四半期比で240店舗増）となりました。この増加の要因は、前年度期末に子会社化した株式会社どさん子の243店舗のほか、既存ブランドの牛角8店舗などが増加したことによるものであります。また当第1四半期における全店売上高は、前年同月比で4月は103.4%（外食業平均103.0%）、5月は99.0%（同100.6%）、6月は104.1%（同102.0%）となり、外食業平均（一般社団法人日本フードサービス協会による公表数値）を概ね上回り堅調に推移しました。

ブランド・ポートフォリオの多様化におきましては、当社グループ初のラーメン業態である株式会社どさん子が加わったほか、昨年から展開しているファストフード業態「Taco Bell」は、現在の4店舗に加え、平成28年12月までにさらに4店舗をオープンさせ、店舗展開を加速する計画です。また、英国法人のSushi Bar Atari-Ya Limitedでは、ロンドンを拠点に活躍する世界的ファッションデザイナー、ミチコシノ氏とコラボレートした寿司バー「Michiko Sushino（ミチコ スシノ）」の運営を開始しました。

海外市場への進出につきましては、今年3月に子会社化した米国の水産物加工卸会社Pacific Paradise Foods, Inc.を、当社の流通事業並びに海外事業の拡充をする上で、当社の和食ブランド店舗を北米地域で拡大していく際の拠点として活用していく予定です。

最後に食品生産事業と六次産業化におきましては、株式会社弘乳舎は、全国の「牛角」ブランド店へのPBアイスクリームを提供する等、着実に収益基盤の拡充が進んできております。茨城乳業株式会社及び九州乳業株式会社につきましても、ヨーグルトや豆乳を中心とした製品開発を続け、販路をディスカウントストア等にも拡大しております。また6月に資本業務提携契約締結を発表した株式会社フルッタフルッタと協同し、更なる商品開発と販路拡大を目指す予定です。なお、平成28年4月に発生した熊本地震により、熊本県と大分県に拠点を持つ、株式会社弘乳舎及び九州乳業株式会社の本社建物や生産設備に被害が発生しましたが、幸い当社従業員の人的被害はなく、また生産設備の被害も軽微なもので済んだため、いずれも地震発生から数日以内に通常稼働を再開しております。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,769百万円（前年同四半期比136.1%増）、営業利益は399百万円（前年同四半期比127.4%増）、経常利益は339百万円（前年同四半期比100.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は149百万円（前年同四半期比11.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、前第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しております。業績における前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の区分方法により組み替えて比較しております。

①販売

当第1四半期連結会計期間末における、当社グループの店舗数は前述の通り678店舗となりました。内訳は直営店69店舗（前年同四半期比20店舗の増加）、フランチャイズ店609店舗（前年同四半期比220店舗の増加）となります。既存ブランドの「牛角」が8店舗増加したほか、新ブランドとして株式会社DSKグループのラーメンブランド店「どさん子」「みそ膳」「藤平」ほか243店舗が新たに加わるなど、合計257店舗増加した一方、既存ブランドの居酒屋ブランド「おだいどこ」4店舗をはじめ、合計17店舗減少いたしました。以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,821百万円（前年同四半期比29.5%増）、営業利益は187百万円（同21.9%減）となりました。

②流通

当社グループの流通事業部門は海外子会社3社により構成されており、直近では3月に、新たに米国企業 Pacific Paradise Foods, Inc. を子会社化しております。以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,000百万円、営業利益は61百万円となりました。

③生産

当社グループの生産事業部門は、乳製品製造加工を行う株式会社弘乳舎、茨城乳業株式会社及び九州乳業株式会社、並びに肉用・乳用仔牛の肥育を行う株式会社TOMONIゆめ牧舎が加わり、現在計4社により構成されております。乳製品につきましては、ヨーグルトや豆乳を中心とする製品開発を進めており、また販路の拡大にも注力しております。以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,939百万円、（前年同四半期比222.5%増）、営業利益は251百万円（同253.2%増）となりました。

④その他

その他事業の内容といたしましては、店舗開発事業等による売上があり、当第1四半期連結累計期間における売上高は8百万円（前年同四半期は売上高5百万円）、営業利益は8百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は24,297百万円となり、前連結会計年度末に比較し664百万円増加いたしました。これは主に、流動資産のその他が296百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、17,131百万円となり、前連結会計年度末に比較し、1,257百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金及び長期借入金が568百万円減少したことによるものであります。

純資産については、第三者割当による増資、新株予約権の行使による増資及び四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末と比べ1,921百万円増加し、7,165百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,507,158	5,555,597
受取手形及び売掛金	3,719,263	3,757,345
商品及び製品	1,018,728	1,096,296
仕掛品	15,696	24,980
原材料及び貯蔵品	331,261	323,874
その他	1,686,729	1,983,469
貸倒引当金	△137,313	△129,946
流動資産合計	12,141,523	12,611,617
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,077,862	3,077,862
その他(純額)	2,577,694	2,687,254
有形固定資産合計	5,655,556	5,765,116
無形固定資産		
のれん	3,814,413	3,693,030
その他	71,400	65,174
無形固定資産合計	3,885,813	3,758,204
投資その他の資産	1,950,231	2,162,263
固定資産合計	11,491,601	11,685,585
資産合計	23,633,125	24,297,203

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,736,312	2,625,146
短期借入金	2,122,453	2,059,576
1年内返済予定の長期借入金	2,710,375	2,621,452
未払法人税等	530,011	144,923
賞与引当金	22,018	41,272
その他	1,830,595	1,625,619
流動負債合計	9,951,767	9,117,990
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	5,901,600	5,485,397
債務保証損失引当金	72,596	71,556
退職給付に係る負債	459,867	461,852
資産除去債務	159,767	160,550
その他	1,783,875	1,774,623
固定負債合計	8,437,706	8,013,980
負債合計	18,389,473	17,131,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,902,254	2,848,908
資本剰余金	1,861,590	2,819,812
利益剰余金	1,224,367	1,373,544
自己株式	△1,428	△1,428
株主資本合計	4,986,784	7,040,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,405	△2,307
為替換算調整勘定	△76,630	△148,777
その他の包括利益累計額合計	△72,224	△151,084
新株予約権	4,522	4,472
非支配株主持分	324,568	271,007
純資産合計	5,243,651	7,165,232
負債純資産合計	23,633,125	24,297,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	3,714,701	8,769,774
売上原価	2,658,926	6,256,519
売上総利益	1,055,775	2,513,254
販売費及び一般管理費	880,300	2,114,180
営業利益	175,475	399,074
営業外収益		
受取利息	4,474	8,080
受取配当金	1,447	9
持分法による投資利益	399	—
その他	15,365	14,741
営業外収益合計	21,687	22,831
営業外費用		
支払利息	22,075	36,017
為替差損	—	17,368
持分法による投資損失	—	9,349
その他	5,673	19,298
営業外費用合計	27,748	82,033
経常利益	169,413	339,871
特別利益		
固定資産売却益	—	4,219
段階取得に係る差益	9,051	—
負ののれん発生益	62,386	—
貸倒引当金戻入額	—	1,516
その他	—	1,505
特別利益合計	71,438	7,241
特別損失		
固定資産除却損	—	6,741
減損損失	8,425	—
店舗閉鎖損失	21,301	—
災害による損失	—	13,743
その他	9,200	2,850
特別損失合計	38,926	23,334
税金等調整前四半期純利益	201,925	323,779
法人税、住民税及び事業税	60,399	125,233
法人税等調整額	4,409	37,615
法人税等合計	64,808	162,848
四半期純利益	137,116	160,930
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,821	11,753
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,294	149,176

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	137,116	160,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79,091	△5,698
為替換算調整勘定	15,615	△72,146
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△1,015
その他の包括利益合計	94,707	△78,860
四半期包括利益	231,823	82,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,001	70,315
非支配株主に係る四半期包括利益	2,821	11,753

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年4月28日付で、株式会社神明ホールディング及びアサヒビール株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が941,544千円、資本準備金が941,544千円増加し、新株予約権の権利行使による増加も含め当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,848,908千円、資本準備金が2,548,908千円となっております。